



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月30日

上場会社名 株式会社ルネサンス

上場取引所 東

コード番号 2378 URL <https://www.s-renaissance.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 吉田 正昭

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員最高財務責任者 (氏名) 安澤 嘉丞

TEL 03-5600-5312

四半期報告書提出予定日 平成30年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	34,392	3.6	2,937	0.5	2,768	3.2	1,815	0.5
29年3月期第3四半期	33,183	2.4	2,952	21.6	2,860	25.8	1,805	49.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,815百万円 (0.4%) 29年3月期第3四半期 1,807百万円 (48.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	111.66	
29年3月期第3四半期	121.03	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	34,960	14,260	40.8
29年3月期	33,548	9,269	27.6

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 14,260百万円 29年3月期 9,269百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		13.00		15.00	28.00
30年3月期		15.00			
30年3月期(予想)				16.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,100	6.0	4,000	8.6	3,800	8.2	2,200	11.7	133.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

なお、1株当たり当期純利益については、当第3四半期累計期間において実施した新株予約権の行使に伴う自己株式の処分(2,000,000株)を反映させた期中平均株式数をもとに算定しております。詳細は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	21,379,000 株	29年3月期	21,379,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	4,458,420 株	29年3月期	6,458,420 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	16,254,217 株	29年3月期3Q	14,920,580 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)1ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績に関する説明 .....	1
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### <経済状況>

当第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年12月31日）におけるわが国経済は、実質総雇用者所得が増加し、個人消費が緩やかに持ち直す等、景気は引き続き回復基調が続いております。先行きについては、雇用・所得環境が改善する中で、景気が持ち直していくことが期待されます。一方、中国を始めアジア新興国等の経済の動向、政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響等に留意する必要があり、先行きについては不透明な状況が続いております。

#### <業界動向>

フィットネス業界においては、国民一人ひとりの健康増進意識の高まりとともに、利用目的や時間等の多様な顧客ニーズに対応した小型業態は引き続き積極的に展開されています。

企業の従業員への健康づくりは、健康経営の視点からも積極的に取り組まれており、働き方改革等の取り組みによって就業後の時間を活用した利用者は引き続き増加傾向にあります。

#### <当社グループの状況>

当社グループは、「わたしたちルネサンスは『生きがい創造企業』としてお客様に健康で快適なライフスタイルを提案します。」の企業理念のもと、大型総合スポーツクラブ事業を中心に事業の成長を目指しております。

急速な少子高齢化が進む中、当社グループでは他社に先駆けて高齢者の健康づくりに役立つ多様なサービスを提案しております。また、小規模や特化型施設の増加等、事業環境の変化を踏まえ、平成29年度は、平成27年度を初年度とする中期経営計画の最終年度として、引き続き、以下の①～③に重点的に取り組んでおります。

- ① スポーツクラブ事業の収益性の強化
- ② 新しい成長の柱を増やす
- ③ 持続的成長を可能とするヒトと組織づくり

当社グループは、持続的な成長を目指して、積極的な設備投資を実施しておりますが、当第3四半期連結累計期間には、4月に大型複合スポーツクラブの「ルネサンス北千住」（東京都足立区）、5月に都市型フィットネスクラブの新ブランドとなる「コクールルネサンス名古屋JRゲートタワー」（名古屋市中村区）がオープンし、8月に「ルネサンス福岡大橋」（福岡市南区）を建替えオープンしました。また、10月には、「ルネサンス竜ヶ崎ニュータウン」（茨城県龍ヶ崎市）を業務受託契約にてオープンしました。

既存店においては、施設のリニューアルを27施設において実施しました。また、スタジオにホットヨガプログラムに対応するための設備投資を実施し、施設環境の整備と競争力の向上に努めております。

新店4店舗の好調な入会が牽引し、全社の在籍会員数は408,002名と前年同期比1.4%増となりました。在籍会員数の増加等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は343億92百万円と前年同期比3.6%増加しました。一方、新店4店舗に加えて、平成30年1月開業の「ルネサンス・ユーカーが丘」(千葉県佐倉市)の開業費用の増加等により、営業利益は29億37百万円(同0.5%減)、経常利益は27億68百万円(同3.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億15百万円(同0.5%増)と前年同期に比べほぼ横ばいとなりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

#### イ. 資産

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ14億12百万円増加し、349億60百万円となりました。これは主に、新株予約権の発行及び当該新株予約権の行使に伴う自己株式の処分に伴い現金及び預金が増加したことにより流動資産合計が12億12百万円増加したこと、新規出店に伴い有形固定資産が増加したことにより固定資産合計が1億99百万円増加したことによるものです。

#### ロ. 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ35億78百万円減少し、207億円となりました。これは主に、短期借入金及び未払法人税等が減少したことにより流動負債合計が22億44百万円減少し、また、長期借入金が増加したことにより固定負債合計が13億33百万円減少したことによるものです。

#### ハ. 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ49億90百万円増加し、142億60百万円となりました。これは主に、新株予約権の発行及び当該新株予約権の行使に伴う自己株式の処分により資本剰余金が19億50百万円増加したことに加え、自己株式が17億2百万円減少したこと、また、親会社株主に帰属する四半期純利益18億15百万円を計上したこと、配当金4億77百万円を支払ったことにより利益剰余金が13億37百万円増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期連結業績予想につきましては、本資料の公開時点において、平成29年5月11日公表の通期連結業績予想に修正はありません。

なお、1株当たり当期純利益については、当第3四半期累計期間において新株予約権の行使に伴う自己株式の処分(2,000,000株)を実施したことにより、平成30年3月期の期中平均株式数を16,418,526株として1株当たり当期純利益を133.99円と算定しております。(平成29年5月11日公表時点の期中平均株式数は、14,920,580株、1株当たり当期純利益は147.45円)

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,006,627	2,672,113
売掛金	1,241,649	935,827
商品	187,865	258,080
その他	1,747,881	1,530,843
貸倒引当金	△8,537	△8,537
流動資産合計	4,175,486	5,388,327
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,861,629	8,415,576
リース資産(純額)	6,978,719	6,706,009
その他(純額)	4,509,975	3,635,783
有形固定資産合計	18,350,324	18,757,369
無形固定資産		
投資その他の資産	986,661	1,028,021
敷金及び保証金		
敷金及び保証金	8,303,384	8,439,827
その他	1,732,590	1,347,208
投資その他の資産合計	10,035,975	9,787,036
固定資産合計	29,372,960	29,572,427
資産合計	33,548,447	34,960,754
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	69,083	57,449
短期借入金	1,800,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	2,370,000	2,280,000
未払法人税等	874,460	154,102
賞与引当金	918,292	385,345
資産除去債務	21,724	21,288
その他	3,989,272	4,100,181
流動負債合計	10,042,832	7,798,365
固定負債		
長期借入金	5,110,000	3,990,000
リース債務	6,864,968	6,634,524
退職給付に係る負債	568,388	601,336
資産除去債務	932,981	930,198
その他	759,362	745,930
固定負債合計	14,235,700	12,901,990
負債合計	24,278,533	20,700,355

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,210,380	2,210,380
資本剰余金	2,756,974	4,707,844
利益剰余金	9,799,677	11,137,072
自己株式	△5,495,999	△3,793,999
株主資本合計	9,271,031	14,261,296
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,782	6,606
為替換算調整勘定	7,609	5,283
退職給付に係る調整累計額	△13,509	△12,788
その他の包括利益累計額合計	△1,117	△898
純資産合計	9,269,913	14,260,398
負債純資産合計	33,548,447	34,960,754

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	33,183,662	34,392,910
売上原価	28,605,154	29,711,359
売上総利益	4,578,507	4,681,550
販売費及び一般管理費	1,625,768	1,744,218
営業利益	2,952,739	2,937,331
営業外収益		
受取利息	19,358	16,120
受取手数料	92,884	51,038
その他	31,454	21,107
営業外収益合計	143,697	88,266
営業外費用		
支払利息	211,586	199,106
その他	24,535	58,050
営業外費用合計	236,122	257,157
経常利益	2,860,314	2,768,441
特別利益		
固定資産売却益	—	2,760
特別利益合計	—	2,760
特別損失		
固定資産除却損	14,819	18,638
減損損失	33,157	—
災害による損失	10,073	—
店舗閉鎖損失	9,120	—
その他	3,893	209
特別損失合計	71,062	18,847
税金等調整前四半期純利益	2,789,251	2,752,353
法人税、住民税及び事業税	752,683	683,383
法人税等調整額	230,738	253,957
法人税等合計	983,421	937,340
四半期純利益	1,805,830	1,815,012
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,805,830	1,815,012

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,805,830	1,815,012
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,486	1,823
為替換算調整勘定	△3,538	△2,326
退職給付に係る調整額	3,930	721
その他の包括利益合計	1,878	219
四半期包括利益	1,807,708	1,815,232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,807,708	1,815,232
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の発行及び当該新株予約権の行使に伴う自己株式の処分を行いました。これにより、その他資本剰余金が1,950,870千円増加し、自己株式が1,702,000千円減少しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金は4,707,844千円、自己株式は△3,793,999千円となっております。